

# 平成30年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の202%、日照時間は平年の33%であり、多雨、寡照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の17%、日照時間は平年の70%であり、少雨、寡照に経過した。

9月中旬:平均気温は平年より0.2℃低く、降水量は平年の14%、日照時間は平年の154%であり、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月の平均では平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の64%、日照時間は平年の85%であり、少雨に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	20.4	20.9	△ 0.5	19.9	20.2	△ 0.3	17.8	18.0	△ 0.2	19.4	19.7	△ 0.3
最高気温(℃)	24.1	25.7	△ 1.6	24.1	25.2	△ 1.1	23.5	23.1	0.4	23.9	24.7	△ 0.8
最低気温(℃)	17.7	17.0	0.7	15.8	16.4	△ 0.6	12.4	13.6	△ 1.2	15.3	15.7	△ 0.4
降水量(mm)	91.0	45.0	46.0	11.5	67.8	△ 56.3	8.5	60.8	△ 52.3	111.0	173.6	△ 62.6
日照時間(hr)	19.9	59.7	△ 39.8	37.7	53.5	△ 15.8	86.3	55.9	30.4	143.9	169.1	△ 25.2

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

5月20日：平年並

事由：播種は平年並の4月17日に行った。播種後から4月5半旬にかけて高温に経過したため、出芽期は播種後5日目であった。5月上旬は低温・寡照で経過したことから苗の生育は緩慢となったが、5月3半旬には高温・多照で経過したため、生育は回復傾向を示した。移植は平年より2日早い5月18日に行った。

移植時の苗において、茎数および主稈葉数は概ね平年並であった。草丈は10.1～11.3cmで平年並からやや下回った。100本あたりの地上部乾物重は2.02～2.20gで平年並からやや下回ったが、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.19～0.20と概ね平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日：やや不良

事由：5月下旬から6月上旬にかけて、平均気温は平年並からやや高く、多照で経過したため、活着は良好で旺盛な生育を示した。その後、6月8日から18日にかけての平均気温は平年を断続的に下回り、寡照で経過したため、生育は停滞し、葉色は黄化した。㎡あたり茎数は293～379本で平年並からやや下回り、草丈および主稈葉数はそれぞれ27.5cm、6.5～6.9枚で平年をやや下回っている。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

7月20日：不良

事由：6月5半旬から7月3半旬にかけて低温・寡照で経過したため、生育が緩慢となり、幼穂形成期は平年より3日、止葉始は平年より4～5日それぞれ遅かった。草丈は平年より9.6～12.0cm短く、㎡あたり茎数は平年より22～36%少なく、主稈葉数は平年より0.3～0.6枚少ない。

以上により、現在の作況は、不良である。

8月20日：不良

事由：7月4半旬から6半旬にかけて高温・多照で経過したため、出穂期は平年より1日遅い7月29日で生育期節は止葉始に比べ回復した。しかし、穂揃日数は平年並から1日長く、さらに遅発分げつが目立ち、穂揃いは不良であった。8月2半旬以降は低温傾向が続き、加えて8月中旬は寡照となり、生育は停滞気味で登熟の遅れが懸念される。稈長は平年より6.6～7.0cm短く、穂長は平年より1.7～2.0cm短く、㎡当たり穂数は平年より15～31%少ない。冷害危険期に低温で経過した時期があり、不稔の発生が懸念されたが、観察による不稔程度は平年並からやや多い程度であった。

以上により、現在の作況は、不良である。

9月20日：不良

事由：8月下旬から9月上旬にかけて、平均気温は平年並であったが最高気温は平年よりやや低く、寡照で経過した。登熟は緩慢であり、また穂揃い不良に伴う登熟の大きなばらつきが観察された。9月5日に台風が通過した後、各品種ともややなびいた。成熟期は「ななつぼし」が平年より5日遅い9月20日で、「ゆめぴりか」が9月20日現在で未達である。登熟日数は「ななつぼし」が平年より4日長い。一穂粒数は平年比98～108%であったが、㎡当たり穂数が平年より15～31%少ないことから、㎡当たり粒数は平年より8～32%少ない。稔実歩合は概ね平年並で、㎡当たり稔実粒数は平年より10～32%少ない。

以上により、現在の作況は、不良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0	
移植期 (月.日)	5.18	5.20	△ 2	5.18	5.20	△ 2	
幼穂形成期 (月.日)	7.05	7.02	3	7.05	7.02	3	
止葉始 (月.日)	7.18	7.13	5	7.19	7.15	4	
出穂期 (月.日)	7.29	7.28	1	7.29	7.28	1	
成熟期 (月.日)	9.20	9.15	5		9.14		
穂揃日数 (日)	7.0	6.8	0.2	8.0	7.0	1.0	
登熟日数 (日)	53	49	4		48		
生育日数 (日)	156	151	5		150		
移植時地上部乾物重(g/100本)	2.02	2.27	△ 0.25	2.20	2.23	△ 0.03	
草丈 (cm)	移植時	10.1	11.1	△ 1.0	11.3	10.8	0.5
	6月20日	27.5	28.9	△ 1.4	27.5	28.9	△ 1.4
	7月20日	57.1	69.1	△ 12.0	59.3	68.9	△ 9.6
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	293	325	△ 32	379	358	21
	7月20日	505	783	△ 278	664	854	△ 190
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.0	3.1	△ 0.1	3.4	3.2	0.2
	6月20日	6.5	6.9	△ 0.4	6.9	7.1	△ 0.2
	7月20日	9.8	10.1	△ 0.3	10.0	10.6	△ 0.6
	止葉	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.6	△ 0.5
稈長 (cm)	62.4	69.0	△ 6.6	60.0	67.0	△ 7.0	
穂長 (cm)	14.7	16.4	△ 1.7	14.6	16.6	△ 2.0	
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	495	722	△ 227	667	786	△ 119	
一穂粒数 (粒)	48.0	48.9	△ 0.9	44.4	41.1	3.3	
m <sup>2</sup> 当粒数 (百粒)	238	353	△ 115	296	323	△ 27	
稔実歩合 (%)	95.0	93.7	1.3	91.9	93.7	△ 1.8	
登熟歩合 (%)		86.8			82.4		
籾摺歩合 (%)		77.8			74.7		
屑米歩合 (%)		5.4			8.6		
精玄米千粒重 (g)		22.7			23.3		
わら重 (kg/a)		66.9			65.4		
精籾重 (kg/a)		78.7			76.6		
精玄米重 (kg/a)		61.2			57.2		
屑米重 (kg/a)		3.5			5.4		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、25年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=7.0-8.5-6.0 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3)刈り取り面積は一区3.96m<sup>2</sup>。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より0.4℃低く、降水量は平年の180%、日照時間は平年の36%であり、多雨、寡照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より0.6℃低く、降水量は平年の31%、日照時間は平年の81%であり、少雨、寡照に経過した。

9月中旬:平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の3%、日照時間は平年の156%であり、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の61%、日照時間は平年の91%であり、少雨、寡照に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.1	25.1	△2.0	23.1	24.7	△1.6	23.0	22.8	0.2	23.1	24.2	△1.1
最低気温(℃)	17.1	16.2	0.9	14.6	15.7	△1.1	10.5	12.8	△2.3	14.2	14.9	△0.7
平均気温(℃)	19.8	20.2	△0.4	19.1	19.7	△0.6	16.7	17.4	△0.7	18.6	19.1	△0.5
降水量(mm)	83.5	46.5	37.0	20.5	66.5	△46.0	1.5	59.8	△58.3	105.5	172.8	△67.3
降水日数(日)	6.0	2.6	3.4	3.0	2.3	0.7	1.0	2.8	△1.8	10.0	7.7	2.3
日照時間(hr)	20.3	55.7	△35.4	42.3	52.4	△10.1	84.8	54.5	30.3	147.4	162.6	△15.2

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(平成30年播種)

平成30年9月20日作況：平年並

事由：9月3半旬以降好天が続き作業は順調に進み、播種は平年より2日早い9月18日である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H30.月.日)	9.18	9.20	△2
出芽期	(H30.月.日)		9.27	
出穂期	(H31.月.日)		6.3	
成熟期	(H31.月.日)		7.18	
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.6	
草丈	H30.10.20		17.6	
(cm)	H31.5.20		47.1	
	H31.6.20		95.6	
茎数	H30.10.20		644	
(本/m <sup>2</sup> )	越冬前(11月)		1352	
	越冬後(4月)		1959	
	H31.5.20		1284	
	H31.6.20		741	
成熟期に	稈長 (cm)		87	
おける	穂長 (cm)		9.1	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )		676	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		1.0	
子実重	(kg/10a)		673	
容積重	(g/l)		813	
千粒重	(g)		40.0	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収獲年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 大豆

6月20日 やや不良

事由:播種期は平年と同日の5月22日であった。出芽期は平年より2日遅かった。播種後、6月7日まで降水量が少なかったため、出芽はばらつきが大きかった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数もやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 不良

事由:6月下旬以降の低温と日照不足により、生育は遅れており、開花期に達していない。主茎長、主茎節数、分枝数のいずれも平年を下回っている。

以上により、現在の作況は不良である。

8月20日 やや不良

事由:開花期は平年より6日遅かった。主茎長と主茎節数は平年を下回り、分枝数もやや少ない。着莢数は平年を上回っているが、粒の肥大は遅れている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

9月20日 不良

事由:主茎長と主茎節数は平年を下回り、分枝数もやや少ない。着莢数も平年比87%と少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
項目	年次			
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.5	6.3	2
開花期	(月.日)	7.22	7.16	6
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	8.5	10.7	△ 2.2
	7月20日	29.0	41.1	△ 12.1
	8月20日	46.3	52.8	△ 6.5
	9月20日	45.0	52.8	△ 7.8
	成熟期		53.0	
主茎節数 (節)	6月20日	2.5	2.9	△ 0.4
	7月20日	7.7	9.5	△ 1.8
	8月20日	8.5	10.0	△ 1.5
	9月20日	8.4	9.9	△ 1.5
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	4.7	6.7	△ 2.0
	8月20日	6.7	7.2	△ 0.5
	9月20日	6.7	7.0	△ 0.3
	成熟期		6.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	83.3	75.1	8.2
	9月20日	60.7	69.6	△ 8.9
	成熟期		68.8	
一莢内粒数			1.89	
子実重	(kg/10a)		410	
百粒重	(g)		38.4	
屑粒率	(%)		1.0	
品質	(等級)		2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成24年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

### 3. 小豆

6月20日作況：不良

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。播種後、6月8日の降雨まで干ばつ傾向で経過した。また、6月中旬が低温で経過した。このため、出芽は不揃いで遅れており、調査時点での出芽率は約20%と出芽期に至っていない。出芽した個体についても、生育は停滞している。

以上により、現在の作況は不良である。

7月20日作況：不良

事由：播種後、乾燥・低温傾向で推移したことから出芽が遅れ、出芽期は平年より11日遅い6月23日であった。出芽後も低温寡照に推移したことから生育は停滞しており、主茎長、主茎節数ならびに分枝数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況は不良である。

8月20日作況：不良

事由：7月下旬は高温・多照で推移したことから、生育はやや回復し、開花期は平年より7日遅い7月31日となった。しかしながら、8月2半旬以降、低温寡照に推移したことから生育は停滞しており、主茎節数は平年並みであるが、主茎長、分枝数ならびに着莢数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況は不良である。

9月20日作況：やや不良

事由：8月下旬以降、気温はほぼ平年並みに推移したが、これまでの生育が遅れていたため、9月20日時点で成熟期には達していない。主茎長が短く、分枝数がやや少ないが、着莢数はほぼ平年並みとなった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.25	△ 2
出芽期	(月.日)	6.23	6.12	11
開花期	(月.日)	7.31	7.24	7
成熟期	(月.日)		9.07	
主茎長 (cm)	6月20日	2.4	3.5	△ 1.1
	7月20日	11.5	20.2	△ 8.7
	8月20日	44.7	64.6	△ 19.9
	9月20日	45.7	64.0	△ 18.3
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.3	△ 0.2
	7月20日	4.9	9.0	△ 4.1
	8月20日	14.5	14.6	△ 0.1
	9月20日	13.5	14.5	△ 1.0
分枝数 (本/株)	7月20日	0.2	3.5	△ 3.3
	8月20日	2.5	3.8	△ 1.3
	9月20日	3.3	3.7	△ 0.4
着莢数 (莢/株)	8月20日	31.2	63.1	△ 31.9
	9月20日	51.1	53.8	△ 2.7
一莢内粒数			6.00	
子実重	(kg/10a)		314	
百粒重	(g)		12.6	
屑粒率	(%)		4.8	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。



#### 4. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より6日早い3月27日で、植付期は平年より1日早い4月25日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：萌芽期は平年より2日早い5月22日、開花始は平年より1日早い6月20日であった。茎長、茎数ともには平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬～7月上旬が多雨、寡照に推移したが、地上部の生育への影響は比較的小さく、茎長は平年よりやや短い、茎数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや不良

事由：8月上旬以降、平均気温はやや低く推移したが、枯凋期は平年より2日早い8月17日であった。上いも平均一個重は平年並であったが、株当たりの上いも数がやや少なかったため、上いも重は平年比89%、中以上いも重は平年比90%であった。でん粉価は平年よりやや高かった。

以上により、本年の作況はやや不良である。

9月20日作況：やや不良

事由：本年は、8月20日作況時に枯凋期に達していたため、今回追加されるデータはない。

以上により、本年の作況はやや不良である。

品種名		男爵薯		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.25	4.26	△ 1
萌芽期	(月.日)	5.22	5.24	△ 2
開花始	(月.日)	6.20	6.21	△ 1
枯凋期	(月.日)	8.17	8.19	△ 2
茎長	6月20日	35	36	△ 1
(cm)	7月20日	45	49	△ 4
茎数	6月20日	4.5	4.4	0.1
(本/株)	7月20日	5.2	4.3	0.9
8月20日における				
上いも数	(個/株)	—	11.5	—
上いも平均一個重	(g)	—	91	—
上いも重	(kg/10a)	—	4577	—
でん粉価	(%)	—	15.2	—
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	10.4	11.9	△ 1.5
上いも平均一個重	(g)	90	89	1
上いも重	(kg/10a)	4144	4653	△ 509
中以上いも重	(kg/10a)	3535	3943	△ 408
でん粉価	(%)	16.4	15.1	1.3
上いも重平年対比	(%)	89	100	△ 11
中以上いも重	" (%)	90	100	△ 10
でん粉価	" (%)	109	100	9

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最凶)、28年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。